

気象遭難対策講習会2014 レポート

2014/6/29(日曜日)、名古屋市/愛知県スポーツ会館において、気象遭難対策講習会を開催しました。

日曜日のゴールデンタイム(18:00-21:00)にもかかわらず、参加者29名(一般:9名、愛知岳連会員:20名)は大矢康裕講師(気象予報士、ウェザーフロンティア所属、デンソー山岳部所属)のお話に聞き入っていました。

第一部の基礎編では、観天望気、高度と気温・風の関係、地上天気図の見方と高層天気図の紹介、気象情報の活用法などについて、登山者の視点から、わかりやすく丁寧に教えていただきました。

面白くてためになったのは、第二部の応用編「遭難時の行動シミュレーション(GIG)」
北海道/トムラウシ山の遭難事例に対して、実際に自分が現場にいたらどうするかをみんなで考えました。
あなたなら、どう行動するの？

気象状況は、知識と情報によって、ある程度予測できる！
気象遭難といわれている遭難事故も、気象のみならず装備・食糧・体力などをしっかり見極め、的確に判断して、すばやく行動することが、とても大切だと感じました。

